



2020年11月6日

各 位

会社名 株式会社住友倉庫  
 代表者名 社長 小野 孝 則  
 (コード番号 9303 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員経理部長 星野公彦  
 (電話 06-6444-1183)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2020年5月12日に公表しました通期連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	178,000	8,500	10,600	6,500	77.80
今回修正予想 (B)	187,000	9,500	11,800	7,200	86.15
増減額 (B - A)	9,000	1,000	1,200	700	—
増減率	5.1%	11.8%	11.3%	10.8%	—
(参考)前期実績 (2020年3月期)	191,721	11,101	13,596	8,951	105.74

2. 修正の理由

- (1) 当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、物流事業では倉庫の荷動きが低調に推移するとともに、港湾運送や国際輸送の取扱いが減少し、また、海運事業におきましても日本発北米向けコンテナ輸送数量が減少いたしました。一方で、倉庫保管残高が高水準となったほか、eコマース関連輸送の取扱いが伸長したことから、当第2四半期連結累計期間の連結業績は前回発表予想を上回りました(次頁(参考)をご参照ください)。
- (2) 同感染症による経済活動への影響は、国内及び海外ともに通期(在外連結子会社の決算日は12月末日)にわたることを前提としておりますが、当社グループの業績に及ぼす影響については一定程度見通せる状況となりました。また、第3四半期以降、物流事業では引き続きeコマース関連輸送の取扱いが堅調に推移し、海運事業では運賃水準の改善、輸送数量の回復や燃料油価格が引き続き低水準で推移することが見込まれるため、通期連結業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

(参考) 2021年3月期第2四半期連結業績実績(2020年4月1日~2020年9月30日)と  
 前回発表予想(2020年8月7日発表)との比較

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,000	4,100	5,200	3,100	37.10
実 績 (B)	92,945	4,440	5,790	3,360	40.21
増減額 (B - A)	2,945	340	590	260	—
増減率	3.3%	8.3%	11.4%	8.4%	—

(注) 通期連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上